

陳 情 文 書 表

平 2 6 陳 情 第 4 号	平成 2 6 年 2 月 2 1 日 受 理
件 名	住宅用太陽光発電システムに対する補助金を増額する陳情
陳 情 者	秦野市北矢名 6 6 6 - 2 3 4 平和・民主・革新をめざす秦野市懇談会 代表 奥田 勲
陳 情 の 原 文	
<p>陳情趣旨</p> <p>新聞報道によると、昨年、横浜市が保育園児の待機者ゼロを達成したところ、川崎市などからの人口流入が目立ったとのことでした。幸いに秦野市では、この問題は既にほぼ達成しており、市当局の努力のたまものと感謝しております。</p> <p>このように住民の要求に沿った政策を実施することにより、人口の増加が可能になると考えます。</p> <p>しかしながら、秦野市では、議会での市の答弁によると人口は減少傾向にあり、市当局も企業誘致などで人口減少に歯止めをかけることに力を入れていることは承知しておりますが、現在の日本の経済状態では、なかなか困難な状態と言わなければなりません。</p> <p>そこで、人口増加のためにも、若年層の流入や定住を図るために、また、環境を守るため、平成 2 1 年度から行っている住宅用太陽光発電システムに対する設置補助を平成 2 6 年度以降も続けられるよう予算の確保と増額をしてください。また、神奈川県に対しても黒岩知事の選挙公約であったことから補助金の増額について、地方自治法第 9 9 条の規定に基づき意見書を提出していただきたく陳情いたします。</p> <p>陳情事項</p> <ol style="list-style-type: none">1 住宅用太陽光発電システムに対する設置補助を、平成 2 6 年度予算で継続し増額すること。2 神奈川県に対して、住宅用太陽光発電システムに対する設置補助金を増額するよう意見書を提出すること。	